

平成27年2月28日

従業員各位

株式会社徳・ノリックス有限会社・有限会社和公
代表取締役 鷺岡和徳

前略、今月も業務に専心いただきありがとうございます。

社内新聞にも掲載していますが、昨年に相愛大学の管理栄養士を目指す学生と一緒に1年間考え、試行錯誤をしながら作ったお弁当「彩食健康・椿」が、本年2月に全国規模のデリカテッセン・トレードショーコンテストで優秀賞（2位）をいただきました。全国から44,000件の応募総数の中での優秀賞なので、かなり価値あるものと思います。

企画・製造に関わった私どものスタッフの仕事が世の中に認められたということで、私も大変嬉しく思います。しかしながら「優秀賞をいただいた。よかった」ではなく、最優秀賞の商品（「なだ万」の2000円のお弁当でした）とは何が異なるのか、私どもの商品を自己否定しながら何が不足していたのかを検証することが最も肝要です。

私の知人に「日本を代表する料亭のなだ万の次点として、世の中に認められるとはたいしたものですね」と言われました。しかし私には全く嬉しくないお褒めの言葉です。確かに私どもの店は「なだ万」に比べると店の歴史や従業員数、店舗数、売り上げなど約10分の1の規模しかありません。しかし、お客様にお届けする商品にはそこまでの異なりはないことは確信しています。店の知名度というものが、お客様に対して安心感をもたらすことは事実ですが、それがすべてではないことは周知の事実です。

いつも皆様に申し上げますが、飲食ビジネスのすべては「商品問題」に尽きると言っても過言ではありません。「どんなお客様に」「どのような場所で」「いくらで」「どんな商品を提供するのか」ということです。成熟社会なのでただ単に空腹を満たす目的だけものは今の時代受け入れられません。美味しさはもちろん、その商品を食べることで「楽しくなる」「元気になる」「気分が良くなる」「会話が弾む」「価格に見合った内容」等、お客様にとって必要な価値を提供出来ることが必須となっています。今回のコンテストは、私たちの商品の価値をはかる試金石としてとてもいい機会であったと思います。私たちは生活者の立場で世の中が求めている商品の開発を通じ、食生活での「お客様の困ったの解決」を目指してビジネスをすすめて参ります。来年度は最優秀賞を受賞出来るよう、皆で頑張りましょう。

「私たちはお客様のために常に新しいことに挑戦し、食生活に新たな価値を創造しつづけます。」

すべては自分のために。

すべてはお客様のために。

すべては会社のために。

すべては社会のために。

来月も一緒に頑張りましょう

草々